

# 上消化道内窥镜（胃镜）检查说明书

## /上部消化管内視鏡検査の説明書

### 1. 检查目的/検査目的

上消化道包括食道・胃・十二指肠。内窥镜检查是为了诊断这些部位的病变（息肉、肿瘤、炎症等）并确定适当的治疗方法。其他的检查方法有，使用钡餐等造影剂的上消化道X线检查（胃透）。然而，多数情况X线检查不容易发现微小的早期癌症等，即便发现异常也不能进行组织检查。为了准确精密地诊断，最为推荐的是内窥镜检查。

/上部消化管とは、食道・胃・十二指腸を指します。内視鏡検査はこれらの場所にできる病気（ポリープ、腫瘍、炎症など）の診断や治療方針を決めるために行います。他の検査法としては、バリウムなどの造影剤を用いた上部消化管X線検査（胃透視）があります。しかしX線検査では小さな早期癌などはみつけれないことが多く、異常所見を認めた場合にも組織検査を行うことができません。精密で確かな診断のためには、内視鏡検査が最も推奨される検査です。

### 2. 经口内窥镜和经鼻内窥镜/経口内視鏡と経鼻内視鏡

有从口腔插入的经口内窥镜和从鼻腔插入的经鼻内窥镜。

经口内窥镜的外径是8到9mm，经鼻内窥镜的外径是5到6mm。经鼻内窥镜检查和经口相比几乎无呕吐的感觉以及插入时的痛苦。

但是，因为要通过敏感的鼻孔所以需要麻醉鼻腔。如果后鼻腔狭窄的话，会导致插入困难。这种情况时要重新准备经口检查前的处置，结果增加了麻醉药的使用量。还有可能引起鼻子出血，不适合正在接受抗凝剂治疗的患者。此外还有“有取不到组织的部位”，“检查/治疗用的器械通不过去”，“因视野暗，难以吸除粘液而影响观察效果”等，还有由于内窥镜比较细而不具备的功能。

/口からカメラを入れる経口内視鏡と、鼻からカメラを入れる経鼻内視鏡があります。

経口内視鏡の太さは外径8-9mm、経鼻内視鏡は外径 5-6mm です。経鼻内視鏡検査の場合は、経口に比べて嘔吐感や挿入時のつらさがあまり気になりません。

しかし、敏感な鼻の穴を通りますので鼻の麻酔が必要です。鼻の奥が狭くて挿入できない場合があります。その場合は改めて口からの前処置をやり直さなくてはならず、結果的に麻酔剤の使用量が増えます。鼻血が出ることもありますので、抗凝固療法を受けている方には適しません。そのほか「組織採取ができない部位がある」、「処置用の道具が通らない」、「視野が暗く、粘液が吸いにくいいため観察力がやや劣る」など、細くするために犠牲にされた機能もあります。

### 3. 检查前的准备/検査の前処置

- 检查前一天的晚餐，请少吃并且在晚9点之前结束。之后请不要再进食。可以摄取水分如水等。  
/検査前日の夕食は、午後9時までに軽めに済ませてください。それ以降の食事摂取は控えてください。水などの水分摂取は可能です。
- 检查当天禁食。也不要喝牛奶或饮料。到 \_\_\_\_\_点为止可以喝少量的水。  
/検査当日は絶食です。牛乳やジュースも控えてください。水は\_\_\_\_\_時までなら少量は飲んでも差し支えありません。
- 正在服用心脏病或高血压等药物的患者，检查当天如何服用，请事先向担当医生咨询。  
/心臓病や血圧その他で内服薬服用中の方は、検査当日の服用については、事前に担当医に相談してください。
- 检查当天请不要穿紧身的衣服。  
/当日の服装は、体を締め付けるものは避けてください。
- 检查当天使用镇静剂的话，请不要自己开车，带陪同的人一起来医院。  
/当日鎮静剤を使用する場合は、自分で車を運転せず、付き添いの方と来院してください。

#### 4. 检查当天/検査当日

##### 经口内窥镜/経口内視鏡

1) 为了安全地检查，请接受问诊。

以下各位需要特殊的准备，请事先告知工作人员。

/安全に検査を受けていただくために問診を受けていただきます。

次の方は特別な準備をする必要があるので、事前にスタッフまでお知らせください。

・ 有过局部麻醉等过敏的，患有前列腺增生(针对男性)・心脏疾病・青光眼・糖尿病的，正在服用使血液不容易凝固的药物（抗凝药）的

/局所麻酔などでアレルギーを起こしたことがある方、前立腺肥大（男性のみ）・心疾患・緑内障・糖尿病のある方、血液をかたまりにくくする薬（抗凝固剤）を飲んでいらっしゃる方

・ 患有主动脉瘤，脑动脉瘤等，被主治医生严禁“憋足气使大劲”的

/大動脈瘤、脳動脈瘤など、主治医から強い「いきみ」を禁じられている方

2) 服用抑制胃内泡沫的药物。/胃の中の泡をおさえる薬を飲みます。

3) 对咽喉施行麻醉。口含液体麻醉药在喉咙处停留3到5分钟后，慢慢咽下。(或者吐出。)

/のどの麻酔をします。液体の麻酔の薬をのどに3-5分間溜めたのち、ゆっくり飲み込みます。

(または、吐き出します。)

4) 注射药物抑制消化道蠕动（解痉剂）。/消化管の動きを抑える注射（鎮痙剤）をします。

5) 左半身朝下側身躺在检查床上。/検査のためベッドの上で、左半身を下にした横向きになります。

6) 虽然已经实施了咽喉麻醉，但也有可能使用利多卡因喷雾来追加麻醉。

/事前にのどの麻酔は済んでいますが、キシロカインスプレーでのどの麻酔を追加することがあります。

7) 咬上护齿套。/マウスピースをくわえます。

8) 经护齿套插入内窥镜，从咽喉到十二指肠全面地进行观察。虽然存在个人差异，内窥镜通过喉咙时，都会有不舒服的感觉。这种感觉会随着时间逐渐适应。另外，为了观察需要尽量展开胃皱襞，因而用空气来膨胀胃，这会逐渐感到腹胀。如果打嗝可能使检查不彻底、或延长检查时间，因此在检查中，请尽量配合，尽可能忍住不要打嗝。唾液不要咽下，请从口角流出。

/内視鏡をマウスピースから挿入し、のどから十二指腸までまんべんなく観察します。個人差はありますが、内視鏡がのどを通るときには違和感を感じます。これは時間の経過とともにだんだん慣れてきます。また、胃のひだを十分に伸ばして観察するために、空気で胃を膨らませますので、徐々にお腹が張ってきます。ゲップをしてしまうと観察が不十分になったり、検査時間が長くなる場合がありますので、検査中はできるだけゲップを我慢するよう、ご協力お願いします。唾液は飲み込まず、口から出してください。

・ 如果检查时发现病变，可能要采取组织进行病理检查，也有可能要检查是否有幽门螺旋杆菌。如果进行了采取组织的处置，为了预防出血检查当天禁止饮酒。万一，出现吐血或便血等症状，请务必与医院联系。

/検査で病変が認められた場合には、組織を採取して病理検査を行ったり、ピロリ菌のチェックをすることもあります。組織採取の処置をした場合は、出血予防のために当日の飲酒を禁止します。万が一、吐血や血便などが見られた場合には必ず病院へご連絡ください。

・ 检查时间一般需要5到15分钟，但是如果增加了采取组织等处置，检查时间可能会有所增加。

/検査の所要時間は通常 5- 15 分くらいですが、組織採取などの処置を追加すると少し長くなることもあります。

## 经鼻内窥镜/経鼻内視鏡

1) 首先，为了安全地检查，请接受问诊。

以下各位需要特殊的准备，请事先告知工作人员。

/まず、安全に検査を受けていただくために問診を受けていただきます。

次の方は特別な準備をする必要があるの、事前にスタッフまでお知らせください。

- ・ 有过局部麻醉等过敏的，患有前列腺增生(针对男性)・心脏疾病・青光眼・糖尿病的，正在服用使血液不容易凝固的药物（抗凝药）的

/局所麻酔などでアレルギーを起こしたことがある方、前立腺肥大（男性のみ）・心疾患・緑内障・糖尿病のある方、血液をかたまりにくくする薬（抗凝固剤）を飲んでいる方

- ・ 患有主动脉瘤，脑动脉瘤等，被主治医生严禁“憋足气使大劲”的

/大動脈瘤、脳動脈瘤など、主治医から強い「いきみ」を禁じられている方

2) 服用抑制胃内泡沫的药物。/胃の中の泡をおさえる薬を飲みます。

3) 点入或喷入使鼻子更为畅通的药物。/鼻の通過を良くする薬を点鼻・噴霧します。

4) 麻醉鼻腔。/鼻の中を麻酔します。

○向鼻腔内喷雾。/鼻にスプレーをします。

○往鼻腔里插入含有麻醉药的棉棒。/鼻に麻酔薬のついたスティックを入れます。

5) 有可能追加咽喉麻醉。/のどの麻酔を追加することがあります。

6) 经鼻腔插入内窥镜，从咽喉到十二指肠无一遗漏地进行检查。为了观察需要尽量开胃皱襞，因而用空气来膨胀胃，这会逐渐感到腹胀。如果打嗝可能使检查不彻底、或延长检查时间，因此在检查中，请尽量配合，尽可能忍住不要打嗝。

/内視鏡を鼻から挿入し、のどから十二指腸までまんべんなく観察します。胃のひだを十分に伸ばして観察するために、空気で胃を膨らませますので、徐々にお腹が張ってきます。ゲップをしてしまうと観察が不十分になったり、検査時間が長くなる場合がありますので、検査中はできるだけゲップを我慢するよう、ご協力お願いします。

- ・ 如果检查时发现病变，可能要采取组织进行病理检查，也有可能要检查是否有幽门螺旋杆菌。如果进行了采取组织的处置，为了预防出血检查当天禁止饮酒。万一，出现吐血或便血等症状，请务必与医院联系。

/検査で病変が認められた場合には、組織を採取して病理検査を行ったり、ピロリ菌のチェックをすることもあります。組織採取の処置をした場合は、出血予防のために当日の飲酒を禁止します。

万が一、吐血や血便などが見られた場合には必ず病院へご連絡ください。

- ・ 检查时间一般需要5到15分钟，但是如果增加了采取组织等处置，检查时间可能会有所增加。

/検査の所要時間は通常 5- 15 分くらいですが、組織採取などの処置を追加すると少し長くなることもあります。

## 5. 镇静药/鎮静剤

针对每次插入内窥镜都比较痛苦，或有强烈恐惧心理的患者，也可以使用镇静药。镇静药可能会有副作用的危险，请事前和检查医生进行充分的商谈。特别是使用了镇静药，可能半日内会有睡意或眩晕，所以检查当天请绝对不要自己驾驶车，骑摩托车和自行车。

/内視鏡の挿入がいつも辛い方や、恐怖感の強い方のために鎮静剤を使用することもできます。鎮静剤には副作用の危険性があり事前に施行医と十分ご相談ください。特に、鎮静剤を使用すると半日くらい眠気やふらつきが残ることがありますので、検査当日は絶対に車やバイク、自転車をご自身で運転しないでください。

- ・因使用镇静药而引起的副作用和并发症/鎮静剤を使用された副作用偶発症としては  
偶尔会发生药物过敏，呼吸抑制，血压下降等。检查当天会有睡意或眩晕。

（睡意等因人而异，有时会持续半日）

检查结束后，因睡意等可能会影响正常工作。

/まれに薬剤アレルギー、呼吸抑制、血圧低下などがおこることがあります。検査当日は眠気やふらつきが残ることがあります。（眠気等は人によって違いますが、半日ほど続くこともあります。）

検査終了後には、眠気などのため、通常の仕事に支障が出るがあります。

## 6. 伴随检查的副作用・并发症/検査に伴う副作用・偶発症

虽然内窥镜检查是比较安全的，但也可能引起并发症。并发症发生几率全国统计是0.005%「根据2010年度日本消化道内视镜学会风发奖全国调查报告」。最常见的并发症是出血。一般出血量比较少而且短时间内可以止血，然而，根据情况也可能需要住院治疗。其他的并发症有药物过敏等。

食道・胃・十二指肠内窥镜检查的死亡率是0.00019%「根据2010年度日本消化道内视镜学会偶发症全国调查报告」。

/内視鏡検査は比較的 안전한 検査ですが、検査に伴う偶発症が起こりえます。偶発症の頻度は全国集計で0.005%です（日本消化器内視鏡学会風発賞全国調査報告2010年度より）。偶発症の代表は出血です。出血は通常少量で短時間に止血しますが、状況により入院治療が必要になることがあります。他の偶発症として薬剤による副作用などがあります。

食道・胃・十二指肠内視鏡検査での死亡率は0.00019%とされています（日本消化器内視鏡学会偶発症全国調査報告2010年度より）。

### 【出血，柏油样便/出血・タール便】

吐鲜红色的血或呕吐物里混有血液，出现黑色大便等。如果出现这些异常情况，请立刻与担当部门联系

/真っ赤な血を吐いたり、嘔吐物に血が混ざっている、黒い便が出るなど。このような異常があれば、すぐに担当部署に連絡してください。

### 【药物引起的副作用/薬剤による副作用】

抑制胃蠕动的解痉药可能引起【复视（一个东西看成两个）】【心率加快】【口渴】等症。不过，经过一段时间后这些副作用几乎都会消失。

偶尔可能引起发疹或不舒服。

此外，非常罕见的，最严重的并发症有【局部麻醉药和镇静药等引起的休克】。

/胃の動きを抑える鎮痙剤のために、「ものが二重に見える」「むねがドキドキする」「口が渇く」などの症状がでることがありますが、こうした副作用はほとんどの場合しばらくするとおさまります  
まれに発疹や気分不良が起こることもあります。

また、非常にまれではありますが、もっとも重篤な偶発症として「局所麻酔剤や鎮静剤などによるショック」があります。

### 【咽喉不适/のどの違和感】

检查后，咽喉敏感的患者可能咽喉会有几天疼痛或不适。

/のどの反射の強い方では、検査後に喉の痛みや違和感が数日残ることもあります。

### 【由内窥镜操作技术引起消化道穿孔/内視鏡手技による消化管穿孔】

由于操作内窥镜而造成消化道的穿孔。

/内視鏡手技により、消化管に穴があくことがあります。

万一发生并发症，本院会进行最妥善的处置・治疗。有可能需要住院或紧急治疗・输血・手术等。  
/万が一、偶発症が起きた場合には最善の処置・治療を行います。入院や緊急の処置・输血・手術などが必要になることがあります。

※我对上述内容接受了充分的说明，并已理解。  
/上記の内容につき十分な説明を受け、理解しました。

年/年 月/月 日/日

签字栏/署名欄 \_\_\_\_\_